

# 世界の水族館情報



▲アーティス水族館  
Artis Aquarium

## アーティス水族館 Artis Aquarium

運河の町オランダのアムステルダムにあるアーティス水族館は、アムステルダム動物園(1832年開園)の附属施設として1882年に開館した長い歴史を持つ水族館です。サルムという親子の建築家によってデザインされた建物は、いかにも中世ヨーロッパという趣をたたえており、観覧通路の壁面は、全て大理石製という重厚なつくりとなっています。



▲メインホール(魚の世界)  
The Main Hall (The Kingdom of Fishes)

水槽には、海水、淡水を問わず世界中から集められた無脊椎動物、魚類、両生類が展示され、日本のオオサンショウウオが展示されていた他、かつてはタカアシガニの展示も行っていたそうです。この水族館のメイン水槽は、1997年に新設されたアマゾン川の魚と熱帯海水魚を展示した2つの水槽で、水量はそれぞれ90m、厚さ10cm、重さ3トンというアクリルではないガラス製の窓を使用した水槽です。この水族館は1860年に英国人口ロイドが発明した、大容量の貯水槽と飼育槽の間を循環するロイドシステムという独自の濾過方式が採用され、データ的にも私たち日本の水族館の常識では信じられないような結果を得ていました。私たちが訪問した際には、水環境管理を担当するソルダーバン氏に濾過槽やキーパースペースの案内をしていただきましたが、歴史を感じるレンガ作り濾過槽や決して広くない迷路のようなキーパースペースの片隅にケミカルフィルターなどの最新の機器があり、飼育環境への頑固なまでのこだわりを感じた水族館でした。

(学習交流課 古川 健)



▲レンガ作りの貯水槽  
Reservoir made of brick



◀釣り初体験の少年少女が参加  
Children and their parents  
enjoying fishing.

参加者は、釣りをあまり経験しなかった小学四〜六年生と、その保護者の方です。半数以上の方が釣り初体験で、仕掛け作りやエサの付け方など苦労していましたが、何とか全員がマハゼやボラクロダイなどを釣り上げることができ、皆大喜びでした。

釣りインストラクターの資格を持つ当館職員が、釣りの楽しさとマナーについて簡単なレクチャーを行い、参加した子供達にも釣りの面白さを十分伝えられたと思います。

今後もこのようなスクールを続けていくことで、自然を理解し、愛する立派な釣り人が一人でも多く育つことを願っています。

(環境展示課 広田祐二)

## TOPICS

# 移動水族館開催

「見て、触れて、学ぶ」Aquarium in your life

Aquariume Fukushima's mobile aquarium

福島県は面積が全国三位という、たいへん大きな県です。交通機関や道路の整備が進む今でも、アクアマリンふくしまのある小名浜まで四時間以上もかかり、お年寄りや子供たちが気軽に来ることができないような場所もあります。アクアマリンふくしまでは、県内のさまざまな地域の皆さまに海洋生物への関心を持っていただく機会を提供するため、生物を持参して市町村を訪問する移動水族館を開催しています。この移動水族館も今年で三年目となります。今年は、十月五日、

六日に本宮町中央公民館、十月十九日、二十日に熱塩加納村体育館で開催しました。この移動水族館には、大小二〇個ほどの水槽にカラフルな熱帯魚やクラゲなどの無脊椎動物を約二〇種類二〇〇点展示した他、ウニやヒトデなど磯の生物を手にとつて観察ができるタッチングプール、ゴマフアザラシやアカシユモクザメの剥製、アンモナイトの化石などに触れることができるコーナーなどを設けました。会場には、各町村の全小学生をはじめ二つの会場を合わせ約二一五〇名が来



▲子供たちでにぎわう会場  
Hall crowded with children.

(学習交流課 古川健)

場し、さまざまな海の生き物を前にして会場は一日中大きな歓声に包まれていました。